

## 協会会計（船員保険）と国会計との合算ベースでの平成 22 年度決算

平成 22 年度の船員保険の単年度収支決算は、21 億円の黒字。  
全体で見ると、  
一般保険料収入及び疾病任意継続保険料収入が 359 億円、国庫補助金等  
が 32 億円、職務上年金給付費等交付金が 78 億円等により収入全体として  
480 億円。  
一方、保険給付費が 276 億円、後期高齢者支援金等の拠出金等が 113 億  
円、介護納付金が 32 億円、業務経費・一般管理費等が 37 億円により支出  
全体として 458 億円。  
部門別に見ると、疾病部門 5 億円、災害保健福祉部門 15 億円の黒字。

また、平成 22 年度での準備金残高は、369 億円（21 年度は 353 億円であり、  
16 億円の増加。被保険者の疾病保険料率軽減分に充てるため、準備金 5 億  
円を取り崩し。）

船員保険制度については、22 年 1 月から改正法が施行され、労災保険及び  
雇用保険に相当する部分が、それぞれ労災保険及び雇用保険に統合されたこ  
と、また、保険料率の種類の変更に伴い部門に変更が生じたため、21 年度  
以前の収支決算との比較は困難。

## 【船員保険全体】

(億円)	
	平成 22 年度決算
保険料	3 5 9
国庫補助金等	3 2
職務上年金給付費等交付金	7 8
その他	1 0
収入計	4 8 0
保険給付費（医療給付・現金給付）	2 7 6
拠出金等	1 1 3
介護納付金	3 2
その他（業務経費・一般管理費等）	3 7
支出計	4 5 8
収支差	2 1
準備金残高	3 6 9

- (注) 1. 端数整理により計数が整合しない場合がある。  
2. 協会の決算に国から提供のあった計数を加え協会で算出。

【疾病部門】

(億円)

	平成 22 年度決算
保険料	2 8 4
国庫補助金等	3 2
その他	5
収入計	3 2 1
保険給付費（医療給付・現金給付）	1 9 7
拠出金等	1 1 3
その他（業務経費・一般管理費等）	6
支出計	3 1 6
収支差	5
準備金残高	2 3 7
（うち被保険者保険料軽減分）	1 9 2

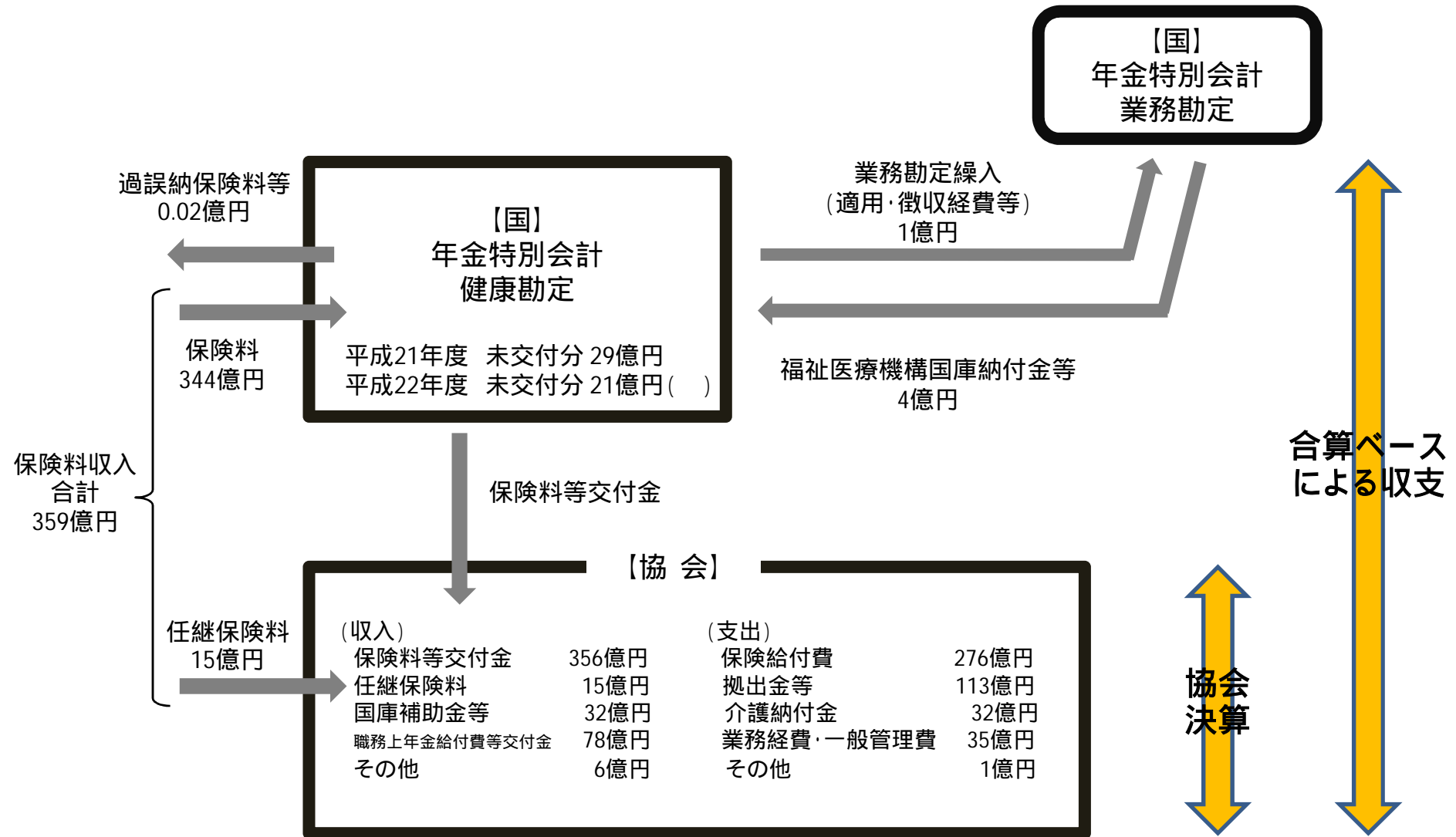
（注）被保険者の疾病保険料率軽減分に充てるため、準備金 5 億円を取り崩している。

【災害保健福祉部門】

(億円)

	平成 22 年度決算
保険料	4 4
国庫補助金	0
その他	5
収入計	4 9
保険給付費（医療給付・現金給付）	2 2
その他（業務経費・一般管理費等）	1 2
支出計	3 4
収支差	1 5
準備金残高	1 3 7

# 船員保険の平成22年度単年度収支決算の全体像



( ) 平成22年度未交付分21億円については、平成23年度に交付される。